

NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブ **すぎスポ**
SPORTS & COMMUNITY

2015 新春号

すぎスポ通信

会員数：510人

種目数：19種目

(2015年2月現在)

NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポは、いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツを楽しむ事ができ、身近な学校開放施設や公共スポーツ施設を拠点として、子供から高齢者まですべての人が参加でき、地域住民が、自ら主体となって運営する地域に開かれたスポーツクラブです。

「広まりゆく総合型スポーツクラブの明るい町おこし」の発表に参加して

常任理事 総務部長 中田 進

杉戸町教育委員会より依頼があり、平成27年1月29日行田市で開催された「東部地区社会教育関係委員・職員基礎研修事業の発表会」に参加しました。

東部地区社会教育関係委員・職員基礎研修事業とは、埼玉県の教育委員会等が主催の研修事業で、3地区が選出されテーマに沿った講演及び発表会です。今年のテーマは「教育社会をとうしたまちづくり」で宇都宮大学准教授佐々木秀和氏の「無縁社会における社会教育の出番と役割」と題した講演のあと、行田市、越谷市、杉戸町の順で発表しました。

杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポは、「広まりゆく総合型スポーツクラブの明るい町おこし」をテーマに緒方マネージャーの作成したスライドにもとずき発表しました。

内容は、

1. すぎスポのモットーは、青少年、高齢者や障がい者にスポーツと文化を広く自由に親しむ機会を提供し、地域住民の心身共に健康で明るく、豊かな町づくりを目指して「何時でも、誰でも、何処でも、何時までも」を掲げる事です。
2. 活動状況は、5百名超の会員が、健康とコミュニケーションの場として楽しみ、生活に潤いをふやしています。
3. その他として、ボランティア活動で地域に貢献、広報誌「すぎスポ通信」発行等の幅広い活動をしています。今後の問題点として、

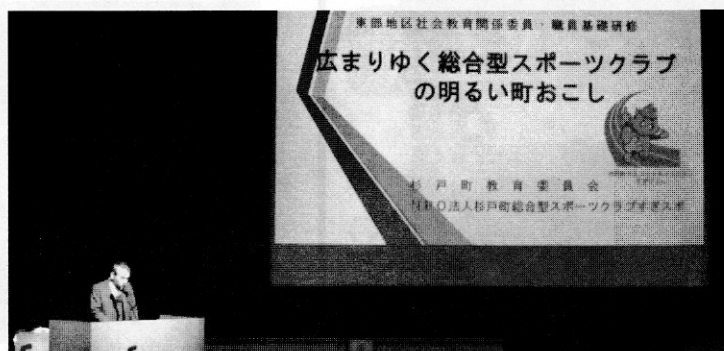
1. NPO法人として収益事業の推進、補助金の獲得に努力しなければなりません。

2. 子供や増加する高齢者の不足している運動施設・公園を増加する努力を行政に決断していただければなりません。

を発表しました。

手前味噌ですが、「すぎスポ」の発表は参加者からの反響もよく、質疑応答も多くありました。

発表資料に関心がある方は各クラブの代表者に申し出て下さい。



すぎスポの発表



宇都宮大学准教授 佐々木秀和氏の講演